

2026年度日系社会研修 コース概要

No	37
所管センター	九州
分野	日本式経営
研修コース名	日本的モノづくり技術（カイゼン）
受入人数	8
受入時期	下半期
来日日	2027年1月20日（水）
帰国日	2027年2月18日（木）
提案団体	公益財団法人 北九州国際技術協力協会
提案団体ウェブサイトアドレス	http://www.kita.or.jp
研修員必要資格	（日系）製造企業、業界団体に所属している製造管理・監督者および普及指導者 ※ 製造管理・監督分野において、3年以上の実務経験を有する者
研修員に必要な実務経験年数	実務経験3年以上
研修使用言語	日本語、英語またはスペイン語 （日英西のいずれかの言語能力が必要。参加者の語学力によってスペイン語または英語のどちらかの通訳を備上する）
日本語能力（JLPT目安）	不問
英語能力	英語でのコミュニケーション可
研修目標	日本的モノづくり技術をベースとした企業の生産性向上のための戦略的計画が策定される。
期待される成果（習得する技術）	1. 日本的モノづくり技術の要件を理解する。 2. 日本的な品質管理、生産性管理技術や方策を習得する。 3. 中小企業の経営改善事例を習得する。 4. 上記を統合し、Q, C, D（Quality, Cost, Delivery）向上のための戦略的計画能力が身につく。
研修計画（内容）	1. 講義：日本的モノづくり（文化、思想、考え方） 2. 講義・実習：日本的な品質管理、生産性管理（不良品を出さない現場、現場の活性化、ロスの排除など） 3. 見学・事例研究：5S、KAIZEN実践工場、先端技術工場など 4. 問題解決の進め方（アクションプラン作成）およびプレゼンテーションのやり方
本研修実施の意義 現地日系社会への裨益効果	日本的モノづくり技術により、Q, C, D（Quality, Cost, Delivery）の更なる向上を図ることができ、日系企業の強化ひいては日系社会の発展に寄与する。
応募希望者への特記事項	・日英西のいずれかの言語能力が必要（参加者の語学力によってスペイン語または英語のどちらかの通訳を備上する） ・テキストは、日本語、英語、ポルトガル語にて対応